

加盟団体責任者 様

埼玉県卓球協会会長 土屋 品子

2022年度 全日本卓球選手権大会一般の部(単・複・混合)県予選会 実施要項

1. 競技種目

① 男子シングルス	② 女子シングルス
③ 男子ダブルス	④ 女子ダブルス
⑤ 混合ダブルス	
2. 競技日程

男女シングルス	2022年10月9日(日) 午前9時00分 開館
男女ダブルス・混合ダブルス	2022年10月23日(日) 午前9時00分 開館
3. 競技会場

男女シングルス	スポーツ総合センター (048-774-5551)
男女ダブルス・混合ダブルス	スポーツ総合センター (048-774-5551)
4. 試合方法

各種目ともトーナメント方式による。
5. 県代表数

① 男子シングルス 6名	② 女子シングルス 6名
③ 男子ダブルス 3組	④ 女子ダブルス 3組
⑤ 混合ダブルス 3組	

(変更の可能性あり)
6. 参加資格
 - ① 参加者は、2022年度(公財)日本卓球協会登録者であること。
 - ② 男女シングルス、男女ジュニア、男女ダブルス、混合ダブルスに出場する選手は日本国籍を有する者とする。
但し、男女ジュニア、男女ダブルス、混合ダブルスは下記の各号の1つに該当すれば外国籍選手も参加できる。
(イ) 日本国民であった者の子(養子を除く)で引き続き3年以上日本に住所または居所を有する者。
(ロ) 日本で生まれたもので引き続き3年以上、日本に住所又は居所を有する者。又はその父、母(養父母を除く)が日本で生まれた者。
(ハ) 引き続き10年以上日本に住所または居所を有する者。
(ニ) 日本国民の配偶者たる外国人で婚姻の日から3年を経過し、かつ引き続き1年以上日本に住所または居所を有する者。
 - ③ 各都道府県代表は本会各都道府県卓球協会(連盟)主催の予選会もしくはその他適切な方法により選出されたものであること。
 - ④ 日本学生卓球連盟にも登録している者は、大学の登録地もしくは卒業高等学校所在地のどちらか一方を選択しエントリーすることができる。但し、卒業高等学校所在地として埼玉より出場を希望する者は、埼玉県卓球協会年会費(400円)を納入すること。

卒業高等学校所在地より出場を希望する者は、登録加盟団体長より卒業高等学校所在地加盟団体長宛に出場承認を申請すること。申請を受けた卒業高等学校所在地加盟団体長は直ちに内容を検討の上、すみやかに申請加盟団体長宛に可否を連絡する。
 - ⑤ ジュニアは、2005年4月2日以降に生まれた者であること。(高校2年生以下)
 - ⑥ 本年度の全日本卓球選手権大会(カデット以下の部)に出場した者でも都道府県の予選を通過すればジュニア及び一般の各種目に参加することができる。
 - ⑦ 同一人の同一種目について予選会出場は1ヶ所限りとする。

※予選会に出場して通過しなかった選手が、ブロック・日学連・高体連などから推薦されて出場することは容認される。

⑧ 無条件参加選手の取り扱いについて（下表を参照）

詳しくは、2022年度大会要項を日本卓球協会のホームページで確認すること。

◎ 無条件参加選手の申込方法

※無条件出場する者は、申込締切までに「埼玉県代表選手申込用紙（推薦選手・無条件出場選手）」に記入し、参加料シングルス3,000円、ダブルス4,000円と通信費1人500円を添えて、現金書留で郵送すること。

7. 競技ルール 現行の日本卓球ルールによる。
8. 使用球 日本卓球協会公認プラスチックボール（ニッタク）
9. 参加料 シングルス：1名につき 1,000円 ダブルス：1組につき 2,000円
10. 申込方法 申込書に必要事項を記入し、参加料を添え、現金書留で下記の場所に郵送すること。
参加料を添えていない申し込みは受け付けない。また、電話での申し込みも受け付けない。
11. 申込先 〒338-0832 さいたま市桜区西堀5-5-8
TTC浦和内 埼玉県卓球協会 宛
12. 申込締切 2022年9月7日（水）～9月16日（金）まで期間内必着のこと。
13. その他
 - (1) 日本卓球協会のゼッケンを必ず着用すること。
 - (2) 棄権者の参加料は返還しない。
 - (3) 全日本卓球選手権大会に出場する者は、段級制規定（P.10）に基づく段位を取得すること。
 - (4) 全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）、2023年1月23日（月）～29日（日）東京体育館（参加選手は2022年度大会要項を日本卓球協会のホームページで確認しておくこと。）
 - (5) 前年度、埼玉県外で代表になった方は、その実績を申し込み用紙下の余白にお書きください。

◎ 無条件参加選手の取り扱い下記表のとおり。

（表は昨年度のもの。念のため今年度の日本卓球協会のホームページで確認すること。）

	推薦母体	推薦対象大会等	種目および人数
①	日卓協	2021年全日本選手権 大会ランキング	男女シングルスベスト16位まで…それぞれの種目に ジュニア男女各8位まで 高校2年生以下…ジュニアと一般に 高校3年生は …一般に
②		2020年全日本選手権 大会ランキング	男女ダブルス各ベスト16位まで、混合ダブルス8位まで
③		2021年全日本社会人選手権 大会ランキング	男女シングルス各8位、男女ダブルス各4位まで …それぞれの該当種目に
④		2021年の全国中学校	男女シングルス各8位まで…ジュニアに
⑤	日本 リーグ	2021年の日本リーグ	男女シングルス各8位、男女ダブルス各4組 …それぞれの該当種目に
⑥	日学連	2021年全日本学生選手権	男女シングルスランキング各8位まで、 男女ダブルスランキング各4位まで …それぞれの該当種目に
⑦	高体連	2021年全国高校選手権大会	①男女シングルスランキング各8位までの高校3年生は…一般に ②男女シングルスランキング各32位までの高校2年生以下は …ジュニアに（但し、各16名まで） ③男女ダブルスランキング各4組まで…男女ダブルスに

- 1) 推薦出場の全ての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。
- 2) 全日本及び全日本社会人等でそれぞれ異なるペアでダブルスの推薦対象となった場合、いずれのペアで参加するかを明示して申し込むこと。
- 3) ナショナルチームおよびジュニアナショナルチームに所属する選手が国際大会、海外遠征などで予選会に出場できない場合の取扱い強化本部規程による。または、強化本部の要請などにより（公財）日本卓球協会が特別に推薦出場を認める場合がある。その場合は当該加盟団体を通じ別途通知する。
- 4) ブロック推薦選手には、申込書の備考欄に「ブロック推」と表示すること。